

市議会議員が定住促進PR動画に参加!



▲豊田市定住促進PR動画撮影の様子(議場にて全議員44名)

市議会では、開会日である9月1日(金)に2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップのPRのため、ラグビーポロシャツを着用しました。さらに豊田市への定住促進のためのPR動画に、市議会議員全員で参加しました。ぜひ一度ご覧ください。



▲定住促進PR動画

小学生が議場を見学!



▲議場見学の児童たち

市立五ヶ丘小学校と市立足助小学校の児童30名(教員4名)が9月27日(水)に都市と山間の教育交流事業での社会学習の一環として議場を見学しました。両校の児童たちは熱心な様子でメモを取り説明を聞いていました。

交通安全啓発活動



▲交通安全啓発活動(市役所南庁舎前)

開会日の本会議終了後、議員による交通安全啓発活動を実施しました。

一人でも多くの市民に交通安全の意識を高めてもらおうと、市長はじめ特別職・幹部職員の参加も得て、街頭活動に取り組みました。

市民シンポジウムを開催します

市議会は、市民のみなさまにわかりやすく開かれた市議会の実現に向け、市民シンポジウムを開催します。

日時：平成30年1月13日(土) 14:00~16:00

場所：豊田市福祉センター ホール

講師：林家源平氏(林家一門 真打)

テーマ：豊田市でずっと住み続けるために

～在宅医療・介護の在り方～

次回定例会の予定

12月市議会定例会は12月1日(金)開会予定です

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】
豊田市議会事務局
〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地
TEL.0565-34-6665
FAX.0565-34-6566
Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

★代表・一般質問の様子を視聴できます★

豊田市議会 ホームページで ▶ 豊田市議会 検索
[動画で見る!代表・一般質問]をクリック!

録画放送は、質問者ごと、大項目ごとで閲覧可能です。
「市議会だより」のバックナンバーや会議録もご覧いただけます。

豊田市議会ホームページ <http://toyota-shigikai.jp> (動画で見る!代表・一般質問)

ケーブルテレビで ▶ ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)

F M ラジオで ▶ FMとよた(ラジオ・ラフィート)生中継
チャンネル/78.6MHz

※この冊子は、折込み「9月市議会定例会号」です。
※このページは裏面です。本紙から抜き取ってご覧ください。

とよた市議会だより

元気いっぱい!すくすく育つ!
特集:豊田市の決算(P2・P3)



園庭で先生と元気に遊ぶ子どもたちの様子(挙母こども園)

目次

- トップインフォメーション 豊田市の決算 2
- 議案説明・討論 条例の一部改正・承認案件など 4
- 議案審議結果 5
- 常任委員会 付託案件を審査 6
- 一般質問 市政を問う! 19人の議員が質問 8
- トピックス 市議会議員が定住促進PR動画に参加! など 12

表紙の写真と関係議案

表紙の写真は議案第83号の豊田市立保育所条例の一部を改正する条例に関連しており、この改正により、挙母こども園では保育所認可園に移行し、0~2歳児の受入枠の拡大がなされ、待機児童対策を行います。

定例会号

9月市議会

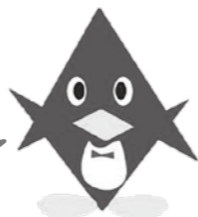


決算ってなに?その決算を議会で審査したってことを詳しく教えてよ!

豊田市の決算

～市がどのように税金を使ったか審査しました～

豊田市議会キッズ用ページキャラクター「市議会ペンギン」



決算はね、簡単にいうと最終的にいくらお金(税金)を使ったかってことだよ。今回は、詳しく紹介していくよ!

市の決算とは、1年間(4月～翌年3月)の収入と支出を整理したものです。9月定例会では、平成28年度の決算状況が議会へ報告され、予算(市が何に計画的にお金を使うかを決めた計画)に基づき、みなさまからの税金が正しく使われているかチェックしました。

市の会計は主に一般会計と国民健康保険などの特別会計や水道・下水道事業会計に分かれており、それぞれ審査します。本市では、予算決算委員会という詳しくこれらを審査する場を設け、また詳細については分科会という部局ごとで割り振った会議体で細かくチェックしています。

市の予算(3月定例会で何にどれだけのお金を使うかを決めたもの)

一般会計

当初予算
約1,859億円

特別会計
水道・下水道
事業会計

決算の詳細は市のホームページをご覧ください。
▲決算報告・健全化判断比率

決算額 歳入 約1,954億円 歳出 約1,866億円

※内訳は広報とよた10月15日号及び市ホームページをご参照ください。

議会の審査体制(予算決算委員会で詳しく審査!)

予算決算委員会

審査は予算決算委員会、さらに詳しく各分科会でチェックするんだよ。

企画総務分科会

地域生活分科会

教育社会分科会

環境福祉分科会

産業建設分科会

各分科会で詳しく審査した内容の代表的なものを紹介するよ!

これからのまちづくり、税、総務に係る支出

- ラグビーワールドカップ2019組織委員会の分担金の支出や開催準備、PR活動など周知を行いました。また、おもてなし強化のため外国語ボランティア養成講座など実施しました。**ラグビーワールドカップ2019開催費【8,601万7,655円】**
ラグビーワールドカップに向けた外国人のおもてなし推進費【695万4,823円】
- 広報とよたの発行(月2回)、ホームページ(閲覧ページ数)の管理などを実施しました。**広報事務費【1億2,416万7,629円】**

企画総務分科会



ラグビーワールドカップ2019「1000日前イベント」

地域の発展・安心安全、水道、消防に係る支出

- 交通安全施設の計画的な点検や修繕により適正管理に努めました。**交通安全施設更新事業【6,555万4,920円】**
- 火災予防活動の推進、住宅防火対策の普及促進啓発を図るためのパンフレットを作製し、配布しました。**火災予防活動費【1,856万7,261円】**

地域生活分科会



とよた3SDライブ「スロー・スマート・ストップ」

次代を担う世代、教育に係る支出

- 教育内容の充実及び教育水準の向上のため、関連教材、備品、図書等を整備しました。**(小・中・特別支援学校)教材備品整備費【5億4,323万8,069円】**
- こども園の保育環境の向上及び施設の充実のため、修繕工事などを実施しました。**(幼・保)施設整備費【3億6,127万3,310円】**
- 放課後児童クラブを開設し、児童の健全育成に努めました。**放課後児童健全育成費【5億1,827万1,273円】**
[開設64校、参加3,204人(夏季4,659人)]

教育社会分科会



ICTを活用した授業の様子

健康、福祉、環境に係る支出

- 未就学の障がい児の日常生活における指導、療育や放課後等デイサービスなどを実施しました。**児童発達支援費【5億3,687万2,040円】**
- 感染症の発生及びまん延を予防するため、予防接種法に基づく14疾病の予防接種を実施しました。**定期予防接種費【13億1,391万6,214円】**
- 一般家庭から排出されたごみの収集を実施しました。**ごみ収集事業費【8億8,412万3,542円】**

環境福祉分科会



健康づくりのキャラクター きらちゃん

道路、都市の整備、産業に係る支出

- 基幹バス、地域バスの運行、乗合バス運行費の補助、公共交通バスの購入(大型車両2台、中型車両2台)などを実施しました。**バス運行推進費【7億4,559万3,975円】**
※支所予算バスを除く
- 優先度の高いのり面から防災対策を実施し、道路の安全確保に努めました。**道路防災対策費【3億2,989万5,720円】**

産業建設分科会



とよたおいでんバス

コラム ～ここはどんな施設!?～

平成29年8月24日(木) 本市に隣接する岐阜県土岐市にある「核融合科学研究所」を視察しました。核融合と名前の付く当施設ですが、いわゆる核(原子力)を扱った施設ではなく、実際には化石燃料を使わず、海中の資源を利用した環境に優しい次世代エネルギーの実現を目指し、私たちの暮らしがより良いものとなるよう研究者の育成や、大学と連携し日夜研究を進めている施設でした。



施設担当者から説明を受ける議員

条例の一部改正など9議案を議決。そのほか承認案件などを審議

災害時の情報伝達をより強化するため無線システムを整備します！

【議案第88号】工事請負契約の締結について(280メガヘルツデジタル同報無線システム整備工事)

災害時の情報伝達の手段として戸別型の情報伝達が行えるよう280メガヘルツデジタル同報無線システムを整備します。主配信局1局、副配信局1局、送信局2局。契約金額2億95万5,600円。完成予定：平成30年2月23日。

防災ラジオ▶



平成28年度豊田市一般会計決算を認定！

【承認第4号】平成28年度豊田市一般会計決算

市の平成28年度の一般会計歳入決算総額は1,953億7,905万円(対前年度14億1,262万円の増)であり、そのうち市税は約6割の1,217億8,038万円で、歳出決算額は1,865億7,584万円(対前年度1億2,743万円の減)でした。歳出の主な減少要因は、寺部小学校や浄水中学校などの校舎建設完了に伴う校舎建設費47億5,526万円の減などがあります。

また、平成28年度の財政力指数は1.60で前年度から0.33ポイント上昇しています。この指数が「1」を超えるほど財政力が強く、財源に余裕があるとされています。

討論

9月市議会定例会最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。*発言順に記載

根本美春 大企業ではなく中小企業への
諸派 支援策を行うべきであり、反対

議案第83号：反対。公立こども園を民間移管する理由は、特に上郷・高岡地区で3歳児の受入枠が不足し、幼保連携型認定こども園とするためであるが、公立園での3歳児の受入枠を増やすべきであり、また、こども園も10年たてば無償譲渡とするため、反対。

承認第4号：反対。市は一番小規模の業者の約7割が赤字の中、企業立地奨励金など大企業への支援策を行っているが、さらなる補助金等の援助の必要がないこと、平成29年度から指定管理制度を導入した中央図書館には問題が多いことなど他5点のため、反対。

山田主成 防災無線「聞こえづらい」
自民クラブ 課題を解決する一手、賛成

議案第88号：賛成。市町村合併以降、災害時の基幹として整備された防災行政無線屋外スピーカーは、聞こえづらいといった課題があったが、当該無線システム防災ラジオは、これらの課題を解決し、情報伝達体制を強化する上で大きな効果が見込まれるため、賛成。

承認第4号：賛成。歳入において税収納率の7年連続の上昇や歳出における当初予算に掲げた重点事業の推進、将来のまちづくりや景気変動に備える財源の確保等、健全財政を維持しながらも、第8次総合計画を見据えた財政運営を評価し、賛成。

桜井秀樹 「子育てするなら豊田市」と
市民フォーラム 言われることを期待し、賛成

議案第83号：賛成。上郷・高岡地区における3歳児幼児教育のニーズの高さや国県からの財政支援などを確認し、過去の民間移管でも保護者から高い評価を受けていること、竜神こども園ではスムーズな移管体制や移管後のサポート体制など確認でき、賛成。

承認第4号：賛成。政策提言した高齢者先進安全自動車購入費補助金による申請者の98%が交通安全を意識し効果が確認できたこと、ラグビーワールドカップに向けたテロ災害対策として関係機関と連携し訓練を実施したことなど今後を期待し、賛成。

大石智里 都心環境の魅力やおもてなし
公明党 の向上に期待し、賛成

議案第84号：賛成。主任介護専門員更新研修を受講することにより、継続的に知識・技術の向上がなされ、より適切な助言・指導が行えること、また5年ごとの研修を適切に受講しているかの確認を毎年行うことなどを確認、これら評価し、賛成。

議案第86号：賛成。KiTARAのオープンを間近に控え、豊田市駅東口バス乗り場付近に、待合スペース、喫煙所、公衆トイレ等を整備することとなり、公共交通利用者等の利便性・都市の魅力・来訪者へのおもてなしの向上に繋がること等を評価し、賛成。

岡田耕一 水源涵養機能維持を高評価、
諸派 更なる連携を期待し、賛成

議案第85号：賛成。建ぺい率・容積率の妥当性、関係自治区である平戸橋一区の世帯数122世帯の増加に伴う既存学校施設での対応が可能であること、住民説明会等での意見等を確認し、大きな影響が無いことを確認、妥当と理解し、賛成。

承認第9号：賛成。間伐など森林の水源涵養機能の維持に取り組み、他自治体からも注目、評価される事業であり高く評価。今後は特別会計の枠にとらわれない目的に合致した議論により、さらに効果的な事業となるよう期待し、賛成。

*議案名など一部省略して記載しています

採決結果	議案	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く								
		自民クラブ 26名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 3名		
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	
◆議案										
第82号	市職員分限条例の一部改正条例	原案可決	26	0	10	0	4	0	1	2
83	市立保育所条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	1	2
84	地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
85	市地区計画等の区域内における建築物制限条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
86	平成29年度一般会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
87	平成29年度介護保険事業特別会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	1	2
88	工事請負契約の締結(280メガヘルツデジタル同報無線システム整備工事)	//	26	0	10	0	4	0	3	0
89	工事請負契約の変更(豊田市足助消防署整備工事)	//	26	0	10	0	4	0	3	0
90	財産の取得(豊田市こども発達センター通園バス)	//	26	0	10	0	4	0	3	0
◆承認										
第4号	平成28年度一般会計決算	認定	26	0	10	0	4	0	1	2
5	// 国民健康保険特別会計決算	//	26	0	10	0	4	0	1	2
6	// 都市計画事業土地区画整理特別会計決算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
7	// 分譲住宅建設事業特別会計決算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
8	// 卸売市場特別会計決算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
9	// 水道水源保全事業特別会計決算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
10	// 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計決算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
11	// 介護保険事業特別会計決算	//	26	0	10	0	4	0	1	2
12	// 財産区特別会計決算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
13	// 簡易水道事業特別会計決算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
14	// 後期高齢者医療特別会計決算	//	26	0	10	0	4	0	1	2
15	// 産業用地造成事業特別会計決算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
16	// 水道事業会計決算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
17	// 下水道事業会計決算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
◆同意										
第5号	教育委員会委員の選任(新任：佐伯 英恵 氏)	同意	26	0	10	0	4	0	3	0
◆報告										
第9号	経営状況の報告									
10	専決処分報告(損害賠償額の決定:3件、工事請負契約の変更:4件、訴えの提起:4件)									
11	平成28年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告									
◆陳情										
第2号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書									
3	私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書									
4	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書									
5	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書									
6	国等の機関に、供託金制度の見直しを求める意見書の提出を求める陳情書									
◆議員提出意見書 (本文は11ページに掲載)										
第1号	活力と魅力を備えた持続可能な都市の実現に向けた道路整備予算の確保及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続に関する意見書(案)	原案可決	26	0	10	0	4	0	1	2

常任委員会とは

常任委員会とは、地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び陳情等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会のこと。本市では、以下の6委員会が常任委員会となります。

委員会

産業建設
委員会

9月13日、付託された1議案を審査し、承認しました。

【第85号】市地区計画等の区域内における建築物制限条例の一部改正条例

質問 都市計画決定をした地区整備計画を建築物制限条例化にする効果は何か。

答弁 建築基準法による建築物制限条例とすることで、建築確認の際に、条例化された地区整備計画の内容について審査を受け、適合しない場合は確認済証の交付がされないため、地区計画の実効性を担保することができる。

地域生活
委員会

9月19日、付託された2議案を審査し、議案のすべてを承認しました。

【第88号】工事請負契約の締結

質問 送信局を炮烙山と面ノ木の山頂に設置するにあたって、その土地の状況についてはどのようなか。

答弁 炮烙山については愛知県が設置する中継局の施設へ間借りして設置することとなっている。また、面ノ木については、稲武の稲橋財産区の土地33.16平方メートルを借地により対応することとしており、いずれの土地についても相手方と設置に向けた協議が整っている。

教育社会
委員会

9月15日、付託された1議案を審査し、承認しました。他に陳情4件を報告しました。

【第83号】市立保育所条例の一部改正条例

質問 これまでも幼稚園認可園の保育所認可化を行ってきたが、待機児童対策を進める上で、効果はあったのか。

答弁 過去にも、上郷、藤藪、美和の3つの幼稚園認可園を、平成27年度から保育所認可化した。これにより、0～2歳児の定員は、合計65人拡大され、4月1日時点の待機児童ゼロに大きく寄与している。

企画総務
委員会

9月20日、付託された1議案を審査し、承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第82号】市職員分限条例の一部改正条例

質問 分限処分を厳しくかつ明確にするが、事前の対応策・再教育等を行っていく考え方はどのようなか。

答弁 人材育成は、業績・能力・態度から、日々の業務の中で指導している。勤務実績がよくない又は適格性を欠く場合は、職務遂行能力向上のための個別研修などを行う。また、心身の故障により職務遂行に支障がある場合は、産業医等の指導に基づき業務軽減など、個別の状況に配慮し、完全な状態への復調を支援する。

環境福祉
委員会

9月14日、付託された2議案を審査し、議案のすべてを承認しました。

【第84号】市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部改正条例

質問 地域包括支援センター職員のスキルアップをどのように図っていくか。

答弁 地域包括支援センター職員は地域包括ケアシステムを実現するため、最新の法制度や情報収集、職種間の調整能力等が必要と考え、研修を実施している。具体的には昨年度は、総合事業開始に伴う介護予防ケアマネジメント、多職種での顔の見える関係づくりを目的とした研修など専門職として必要な内容の研修を実施し、今後も職員の資質向上に取り組む。

【第90号】財産の取得について（豊田子ども発達センター通園バス）

質問 現在使用している通園バス計4台の運行状況とバスの状態はどのようなか。

答弁 毎日の通園は4コースあり、片道1時間半程度の運行時間で年間230日程度運行し、そのほかに行事等で年間15回程度の利用をしている。また、全て4台の車両は取得から10年から13年経過し、走行距離も10万キロから16万キロを超えており、近年は、クラッチの摩耗による交換など修理をしながら運用している。



▲子ども発達センター通園バス

予算決算
委員会

【承認第4号】平成28年度 一般会計決算 総合計画事業調整費について

質問 市民ニーズを把握・分析するために第21回市民意識調査を実施したとのことだが、第8次総合計画にどのように反映したか。

答弁 市民意識調査の結果については、施策ごとの市民のまちの満足度の設問項目を第8次総合計画のまちの状態指標に設定し、目指す姿に近づいているかを定量的に確認するための指標として用いた。また、施策の評価検証といった計画の進行管理や施策展開の検討においても、今後活用していく予定である。



9月7日から22日に付託された補正予算2件、議案及び承認14件を審査し、すべての案件を承認及び認定しました。

【承認第4号】平成28年度 一般会計決算 まちづくり推進費について

質問 空間デザイン設計の平成28年度の取組成果と期待する効果はどのようなか。

答弁 取組成果としては、豊田市駅周辺の主要施設や広場を対象に市民ワークショップ等の議論を踏まえて設計方針を取りまとめるとともに空間デザイン基本計画の骨子の検討に取り組んできたこと。また、市民や都心関係者などとの合意形成を図っていく仕組み、手法について検討を行ったことである。また、効果としては、最終的に取りまとめる空間デザイン基本計画によって、市民や都心関係者などと意識共有を図り、将来の都心づくりに対する期待感、ワクワク感など機運が高まることを期待している。

【承認第4号】平成28年度 一般会計決算 教育問題研究費について

質問 特色ある学校づくり推進事業の事業概要と成果はどのようなか。

答弁 地域性や児童生徒の実態を踏まえ、地域に開かれ、地域に愛される学校となることを目指し、学校ごとに国際理解、自然体験、環境教育、福祉活動、伝統文化、などのテーマを設定し、年間を通じた継続的、発展的な取組を行っている。配分された事業費の範囲内で学校ごとの裁量により柔軟に調整することができるようになり、各学校長からは、地域特性に合わせたマネジメントが行い易くなったという声をいただいている。成果としては、学校と地域の連携も深まり、子どもたちが地域に愛着をもつことにつながっている。

市議会はさらに詳しく現場をチェックしました。

より身近に相談を！健康と福祉の相談窓口

平成29年8月21日(月)高岡支所内にオープンした、「健康と福祉の相談窓口」を視察しました。健康と福祉の相談窓口は平成29年7月3日(月)のオープン以降、視察した日までに電話相談件数47件、訪問件数42件でした。個別支援の充実を支え合いの地域づくり(地域密着型包括支援体制)の推進のため複雑化する健康と福祉に関する課題を一元的に受け、相談できる窓口として機能しています。



ものづくりは人づくり！ものづくり創造拠点(SENTAN)

平成29年9月17日(日)旧元城分庁舎に同日オープンした「ものづくり創造拠点(SENTAN)」を視察しました。この施設は激しい環境変化の渦中にある、市内ものづくり企業の持続的発展を支援することを目的に、主に、ものづくり中小企業や、創業を志すものづくり団体に向け、新たな事業展開、イノベーション創出、ものづくり人材育成を支援する施設です。



市政を問う!

9月4日から6日にかけて、19人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

※質問順に掲載しています。
※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

深津 眞一 自民クラブ



- 第7次総合計画の成果と課題の検証
○中心市街地のにぎわいの創出
○地域資源を生かしたまちづくりの推進

質問 KiTARA(キタラ)オープンへの対応

スポーツのビッグイベントなどを契機とした中心市街地のまちづくりが重要と考えるが、にぎわい創出に向けた今後の展望を問う。

答弁 太田市長

豊田市の中心市街地は、交通の結節点であることに加え、文化施設、矢作川などの自然環境も備った他市にない特徴がある。さらに、今後、KiTARAがオープンし、ラグビーワールドカップ等を契機として、Wi-Fi環境の充実、ウェルカムセンターの整備などを進め、公民連携によるにぎわいづくりを進めていく。現在、第3期中心市街地活性化基本計画を策定しており、若い力の活躍、多様な市民の参画により、一層魅力ある中心市街地づくりに取り組んでいきたい。【写真有】

根本 美春 諸派



- 災害から市民の命を守る対策強化を
○教室へのエアコン設置は早急に

質問 エアコンの設置に向けての検討

学校現場では、エアコン設置の要望が高く、待ったなしと考えるが、エアコン設置の考えを問う。

答弁 学校教育部

エアコン設置の考えについては、平成29年3月市議会定例会の代表質問で回答しているとおり、現場のニーズ把握や温度状況に地域差があることへの対応など、本市の実情に合った導入方法や、導入した場合の効果的な運用ルールの検討などの諸課題を整理し、財政状況を踏まえ総合的に判断していきたい。

小島 政直 公明党



- 第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

質問 高齢者が安心して暮らせる福祉のまちづくり

診療から介護まで切れ目ないサービスが提供できる在宅医療と介護の連携・体制づくりの推進が必要と考えるが、今後の取組方針を問う。

答弁 福祉部

住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするために、医療と介護の連携・体制づくりは重要な取組と考える。具体的には、豊田加茂医師会など関係機関と連携し、医療と介護に関わる多職種合同の研修会の開催、在宅医療サポートセンターの設置、ICTを活用した電子連絡帳の導入などの取組を推進してきた。今後は、連携における課題を整理し、豊田市在宅医療・福祉連携推進計画を平成29年度中に策定して行動に移していく予定である。

浅井 保孝 自民クラブ



- 青少年の社会参加活動の促進
○ものづくり都市における人づくりに対する取組

質問 高校生・大学生を対象とした社会参加活動の促進

第8次豊田市総合計画で、高校生・大学生の社会参加活動の促進を施策の柱の一つとしているが、その考え及び全体像を問う。

答弁 子ども部

地域活動への参加割合は、高校生以上になると低下する傾向があるため、この年代に対する機会の充実が必要と考える。高校生・大学生に関する事業を行うにあたり、情報を知ること・参加すること・企画運営することの3段階で学生が関われるように取り組んでおり、約3千人の個人登録者に向けての情報発信を行い、高校生ボランティアスクールなど参加型事業の実施、大学生によるまちづくり提案、学生盛り上げ隊などの取組を実施している。

安藤 康弘 市民フォーラム



- 「WE LOVE とよた」の推進

質問 市民の一体感を醸成する取組

豊田市には市民歌が制定されていないが、「WE LOVE とよた」の促進や市民の一体感醸成に資する市民歌制定の考え方を問う。

答弁 経営戦略部

「市民の誓い」は間もなく制定40周年を迎え、既に市内で行われている様々な式典はもちろんのこと、地域で行われるイベントや会議でも唱和され、市民に広く浸透しており、市民の一体感醸成への役割を果たしていると考えている。したがって、現時点では同じ趣旨となる市民の歌の制定は予定していないが、今後「WE LOVE とよた」の一層の促進のために市民の歌の制定の機運が高まれば検討していく。【写真有】

窪谷 文克 自民クラブ



- 健康危機管理
○第2次豊田市子ども総合計画の進捗状況

質問 保育需要への対応

第2次豊田市子ども総合計画で、計画の最終年度である平成31年度まで待機児童ゼロを目指しているが、その見通しを問う。

答弁 子ども部



WE LOVE とよた「スクラムフェスタ」

塩谷 雅樹 市民フォーラム



- 定住促進への取組

質問 住宅供給に向けた取組

多くの市民に住み続けてもらうことを念頭に、次期豊田市住宅マスタープラン策定に向けた方向性、考え方を問う。

答弁 都市整備部

まち・暮らし・住まいの3つの視点で基本目標を定め、進捗管理を行う。「まち」の視点では、地域資源と公共交通網を生かし、快適な暮らしができる住まいとまちづくりを目指していく。「暮らし」の視点では、子育て世代から高齢者までの世代が、安心して自立した暮らしができる多世代共生の形成を推進し、「住まい」の視点で、自然災害に強く、既存の住宅ストックを大切に生かしながら快適に暮らせる住まいとまちづくりを目指していく。【写真有】

山口 光岳 自民クラブ



- 防災・減災対策
○自転車の安全走行等への取組

質問 災害予防の取組

雨の降り方が従来と明らかに異なってきている実態を踏まえ、防災・減災に向けた河川改修や流域対策の取組を問う。

答弁 建設部

平成16年に総合雨水対策マスタープランを策定し、東海豪雨時の氾濫実績をもとに、大見川などの河川改修を進めている。境川・猿渡川流域では、県と流域市町とで流域水害対策計画を策定し、流域対策を行なっている。総合雨水対策マスタープランは策定後10年以上が経過し、また合併により市域が拡大したことから、現在改訂作業に取り組んでいる。局地的な集中豪雨への対応策についても、新たな重要な課題としてとらえ、取組方針をまとめていく。

板垣 清志 自民クラブ



- 新しい交流館像
○教員の資質向上

質問 学校現場における教員人材の育成

これからの教育の推進のために、理想の教員像をどのように描くのか。豊田市が目指す教員像を問う。

答弁 学校教育部

子どもの頃に先生から言われた言葉が、ずっと心の支えになることがあると思うが、それは教員という仕事ができるからだと思える。子どもたちを悲しませるようなことはあってはならない。時代がどんなに変わろうとも、変わらないものは、子ども・保護者・関わる人との信頼関係である。子どもたちの健やかな成長を願い、自分自身を律し、意欲的に学び続け、信頼される教員の育成を目指していく。

窪谷 雅樹議員関連



豊田市住宅マスタープラン

窪谷 文克議員関連



こども園での様子

市政を問う!

○一般質問の大きなテーマ(大項目) ●以下の質問に関連している項目

質問 一般質問の小さいテーマ(中項目) 回答した部署名
実際に質問した内容(小項目) 質問に対する市の担当部署の回答

牛田朝見

自民クラブ



- 小原和紙の伝承
- 在宅医療の推進と豊田地域医療センターの再整備

質問 在宅医療の推進に向けた取組

団塊の世代が後期高齢者になる2025年を見据え対策が必要と考えるが、在宅医療の推進における今後の対応を問う。

答弁 福祉部

「豊田市在宅医療・介護連携推進事業検討委員会」を設置し、在宅医療を推進するための具体的計画を策定している。内容は、在宅医療を支える人材確保を中心とする基盤づくり、専門職の質の向上と多職種の連携強化など、課題を明確にする中で検討していく。特に重要なのは在宅医療に関わる医師や訪問看護師、医療と介護をつなぐケアマネージャーの確保・育成と考えている。

近藤光良

自民クラブ



- スポーツの普及による財政の健全化

質問 スポーツをいかした健康づくりのまち

スポーツによる健康づくりと財政健全化のため、市が積極的に推進すべきと考えるが、市長の考えを問う。

答弁 太田市長

第8次総合計画の重点施策で、超高齢社会への適応を掲げ、健康で活力ある生涯活躍の仕組みの構築を位置付けている。生涯を通じて社会とかかわりを持ち、暮らしを楽しむことが、健康寿命の延伸につながる。今年度、文化、スポーツ活動を含め市民活動を連携して推進する生涯活躍部を設け、アクティブシニアの活躍支援や活動に取り組む市民のすそ野の拡大を進める。超高齢社会に適応する健康長寿のまちをめざして、スポーツによる健康づくりを推進していく。【写真有】

鈴木孝英

市民フォーラム



- 救急対応力の強化に向けた取組

質問 市民の救急対応力の向上に向けた支援

公共施設の掲示板にAEDの活用ポスターを設置する等も啓発手段のひとつと考えるが、AED活用に向けた取組を問う。

答弁 保健部

消防庁の統計によれば、心臓マッサージを速やかに開始することで16.1%の人が、AEDを用いて電気ショックを行うことで54%の命が救われるという数値もあり、広く周知する必要があると考える。AEDの使用目的や使用方法の知識を含めて、応急手当を積極的に実践できる市民を増やしていくことが重要である。議員提案のポスターによる活用の啓発を含め、関係機関と協力し、応急手当の大切さや応急手当講習を多くの市民が受講できるように周知していく。【写真有】

大村義則

諸派



- 非核・平和行政について
- 県単位化により国保税を値上げしない事

質問 核兵器禁止条約への参加を政府に求める事

核兵器禁止条約が国連においても採択される中、政府に対して核兵器禁止条約を締結するよう市長として意思表示をしてもらいたい。考えを問う。

答弁 経営戦略部

本市は1982年に開催された国連軍縮特別総会において、当時の広島市長が提唱された、核兵器廃絶への都市連帯に賛同した世界各国の都市で構成されている平和首長会議に加盟し、条約の早期実現について、会議の活動を通じて要請しているところである。条約への政府の参加を求める事についても、他都市と連携をして進めていきたい。

作元志津夫

市民フォーラム



- 分権改革推進による自立した自治運営を目指して

質問 将来に向けた豊田市のあり方について

地方分権改革の現状から将来をどのように描き、国の地方分権改革有識者会議に臨んでいるか、市長の考えを問う。

答弁 太田市長

これまでの分権改革において、権限移譲や規制緩和が進められてきたが、基礎自治体が抱える課題は一層、多様化することが想定され、更なる権限移譲や規制緩和を進める必要がある。本市においても基礎自治体としての権限や財源を確保し、将来を見据え、周辺自治体との連携による結びつきを強め、まちづくりを推進していく。地方分権改革有識者会議の中でも、全国市長会の代表として、国と地方の役割分担、権限や財源、人的支援のあり方についても意見を述べていきたい。

○近藤光良議員関連



スポーツ指導者養成講座の様子

○鈴木孝英議員関連



AED

一般質問

議員氏名

会派名



岡田耕一

諸派



- 本市における公園、広場のあり方

質問 今後の子ども用遊具と健康遊具の整備

健康遊具の整備方針を立て、公園や広場、特に中央公園にも積極的に健康遊具を設置すべきと考えるが、その考えを問う。

答弁 都市整備部

都市公園や広場における健康遊具の整備方針は、今のところ、策定する予定はない。しかし、公園整備をする際には、地域住民の皆様とのワークショップにおいて、地域が必要と判断すれば、健康遊具を設置していく。また、中央公園への健康遊具の設置については、現在の開設区域への設置の可能性も含め、中央公園第2期整備計画を策定する中で実施するワークショップ等を通じ、設置の必要性が確認できれば、計画に反映していきたい。

榎屋小百合

公明党



- 新たな住宅セーフティネット制度について
- 一般介護予防事業について

質問 元気アップ事業(介護予防・健康づくり教室)

元気アップ事業の見えてきた課題及びその課題にどのように対応していくのか、市の考えを問う。

答弁 保健部

課題としては、開催希望地域が少ないことや担い手の確保が困難なことなどが挙げられ、それらの課題を解決するため、平成29年8月からフェイスブックを活用して各地域の実施状況等を周知する取組等を始めた。平成28年度には、自主グループ活動集を作成し、新しい教室開催のきっかけづくりとなるよう働きかけを行なっている。さらさらウエルネス地域推進事業を推進している中学校区では、地域と共働して本事業の推進に努めている。

中村孝浩

市民フォーラム



- 将来を担う子どものいじめ・不登校防止対策

質問 パルクとよたの相談窓口の充実

子どもたちのコミュニケーション手段としてSNSが主流となっているが、SNS利用による相談窓口の開設の検討を問う。

答弁 学校教育部

長野県や大津市がLINEを使った相談窓口の開設を試験的に行なうことは認識している。また文部科学省もSNSからの相談に応じる仕組みについて、有識者会議を開き議論を始めていると報道されている。SNSを利用した相談窓口の開設については、相談員の確保、相談の受付時間帯、メリット・デメリットについて検討する必要がある。その仕組みについては、国の動向を注視しながら、他の自治体の情報収集に努めていく。

杉本寛文

自民クラブ



- 収益性の高い農業形態の推進
- 生涯スポーツを担う地域スポーツクラブ
- 他自治体の豪雨災害から学ぶ防災対策

質問 生涯スポーツを担う地域スポーツクラブのあり方

地域スポーツクラブが自立していくため、その基盤強化に向けた取組を支援策も含め、市の方針を問う。

答弁 生涯活躍部

基盤強化のため、スポーツ教室や大会をより魅力的にして会員拡大を図り、運営の基礎となる会員収入を安定的に確保すること。地区コミュニティの健康事業など積極的に受託すること。複数のスポーツクラブが連合体をつくり、組織力を強化し、自治体や企業、大学と連携できる強固な体制づくりを行うことの3点の取組が重要と考えている。支援策としては現状の支援を継続するとともに、経営基盤を強化していくための新たな支援が必要と考える。

議員提出意見書

活力と魅力を備えた持続可能な都市の実現に向けた道路整備予算の確保及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続に関する意見書

当市のある西三河地方は、世界をリードするものづくり産業の中核としての顔を持つ一方、超高齢社会の進展に伴う労働人口の減少、南海トラフ地震等の大規模地震への対応、公共施設の老朽化等に伴う維持管理費の増大等の課題を抱えている。

このことから、ストック効果を最大限に発揮させ、更なる生産性向上による都市の成長力の強化を図る取組を行いつつ、市民の安全・安心を確保する取組が急務となっている。

今後も地方が真に必要なとする道路整備を着実に推進させ、道路ネットワークの構築を図り、人流・物流の効率化による生産性を向上させることこそが、都市の成長力強化、安全・安心な暮らしの確保、地域の活性化につながるものである。

しかしながら、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定により、補助率等の嵩上げ措置が平成29年度までの時限措置となっており、道路整備の補助率等が低減されると、必要な道路整備財源の確保ができなくなり、市民生活や社会経済活動に多大な影響を及ぼすこと必定である。

このため以下の事項について強く要望する。

記

- 1 公共事業に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、地方が真に必要なとする公共施設が着実に整備されるよう、必要な予算の確保、並びに必要な予算を安定的・持続的に確保すること
- 2 地方創生に全力を挙げている地方自治体があるため、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の補助率等の嵩上げ措置について、平成30年度以降も継続し、さらに拡充すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年 9月25日
豊田 市議会

～意見書とは?～

意見書とは地方公共団体の公益に関する事について、議会がその意思を意見としてまとめた文書です。議会は地方自治法に基づき、地方公共団体の公益に関する意見書を、国会や関係機関に提出することができます。